

～使ってベスト! しっかりガード!～

殺虫剤

# ベストガード® 水溶剤

## アブラムシ・コナジラミ・アザミウマ などの難防除害虫に



アブラムシ類(ワタアブラムシ)



タバココナジラミ



ミナミキイロアザミウマ



埼玉県農業技術研究センター提供  
ネギネクロバネキノコバエ(仮称)

適用  
拡大

作物

カリフラワー  
ブロッコリー  
食用ぎく  
マンゴー

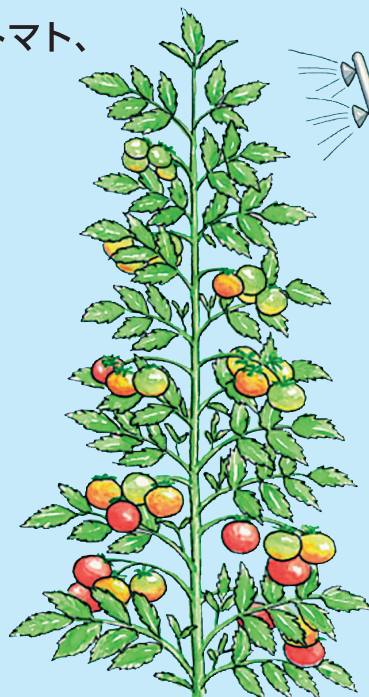
害虫

クロバネキノコバエ類(ねぎ)  
カメムシ類(稲)  
アザミウマ類(なし)

コナジラミ類(いちご)  
アブラムシ類  
(花き類・観葉植物)

### 育苗期～生育期に! 〈散布〉

なす、トマト、ミニトマト、  
きゅうり、いちご、  
ピーマンなど



特長

- 葉裏などに隠れた害虫にも効く
- 水によく溶け、作物が汚れにくい
- 計量カップ付きで計りやすい



■適用と使用方法

2017年8月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当り 使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	ニテンピラムを含む 農業の総使用回数	使用方法			
稲	ウンカ類、ツマグロヨコバイ	2,000~4,000	60~150	収穫14日前まで	4回以内	4回以内	散布			
	カメムシ類	2,000								
ばれいしょ	アブラムシ類	1,000~2,000	100~300	3回以内	3回以内	※①				
かんしょ	コナジラミ類	1,000								
とうがらし類	コナジラミ類、 アブラムシ類、 ミナミキイロアザミウマ	1,000~2,000						収穫前日まで	※②	
きゅうり								収穫7日前まで	※①	
メロン								収穫前日まで	※③	
すいか								収穫7日前まで	※②	
ピーマン								収穫前日まで	※④	
なす								収穫7日前まで	※⑤	
トマト								収穫前日まで	※⑥	
ミニトマト								収穫7日前まで	※⑦	
だいこん								収穫前日まで	※⑧	
いちご								収穫前日まで	※⑨	
レタス	収穫3日前まで	※⑩								
モロヘイヤ	収穫7日前まで	※⑪								
アスパラガス	収穫前日まで	※⑫								
カリフラワー	収穫前日まで	※⑬								
ブロッコリー	収穫前日まで	※⑭								
ねぎ	収穫前日まで	※⑮								
もも	アブラムシ類	1,000~2,000					200~700	収穫14日前まで	2回以内	2回以内
りんご										
なし	カメムシ類、 チュウゴクナシキジラミ、アザミウマ類	1,000~2,000	200~700	収穫30日前まで	2回以内	2回以内				
ぶどう	アザミウマ類									
かんきつ	フタテンヒメヨコバイ	1,000	200~400	摘採7日前まで	2回以内	2回以内				
かき	コナカイガラムシ類	1,000~2,000								
マンゴー	アザミウマ類、アブラムシ類	1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	2回以内	※⑯				
食用べにばな(花)	アザミウマ類	1,000								
茶	ナモグリバエ	2,000	100~300	発生初期	4回以内	4回以内				
花き類・観葉植物 (ポインセチア、きく、 ばら、ゆりを除く)	チャノキイロアザミウマ、 チャノミドリヒメヨコバイ	1,000~2,000								
ポインセチア	コナジラミ類	1,000	100~300	発生初期	4回以内	4回以内				
きく	アブラムシ類	2,000								
食用ぎく	コナジラミ類、チビクロバネキノコバエ	1,000	100~300	収穫7日前まで	2回以内	※⑰				
	アブラムシ類	1,000~2,000								
ばら	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	1,000	100~300	発生初期	4回以内	4回以内				
ゆり	アブラムシ類	2,000								
たばこ	コナジラミ類	1,000	100~180	収穫10日前まで	1回	1回				
	アブラムシ類	1,000~2,000								
たばこ	アブラムシ類	2,000	100~180	収穫10日前まで	1回	1回				

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当り 使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	ニテンピラムを含む 農業の総使用回数	使用方法
せり	水田							
せり (水耕栽培)	ガラス室 等の施設	アブラムシ類	2,000	100~300	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	散布

- ※①: 4回以内(育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
- ※②: 4回以内(定植時までの処理は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)
- ※③: 4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元散布及び水溶剤の散布は合計3回以内)
- ※④: 4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
- ※⑤: 5回以内(育苗期の散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)
- ※⑥: 4回以内(育苗期の散布は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)
- ※⑦: 4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元処理及び水溶剤の散布は合計3回以内)
- ※⑧: 4回以内(粒剤の散布は2回以内、水溶剤の散布は2回以内)

■使用上の注意事項

- ポルドー液など強アルカリ性の薬剤とは混用しないでください。(分解)
- ぶどうの袋かけ直前の散布はさけてください。(果粉溶脱)
- せりに使用する場合は、水田以外での使用はさけてください。
- せり(水耕栽培)に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
- 薬にかからないように注意してください。かかった場合15日間は給桑しないでください。(毒害)
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに影響があるので注意してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布の際は必ず農業用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。
- 使用後、保管の際には必ずキャップをしてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は園場等に放置せず適切に処理してください。

29H9117B115:ZS

2017年9月作成(全新企画社)



〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

